

第9回

大分自然環境研究発表会

参加
無料

日時

2019年12月21日(土)

10:00(9:30開場)～16:00 (終了時間は発表演題数により変更する可能性があります。)

場所

大分大学旦野原キャンパス 理工学部大講義室(104号教室)

(〒870-1192 大分市大字旦野原700番地)

事前申込は不要で、どなたでも参加いただけます。お気軽にご参加ください。

午前の部 10:00～12:05

特別企画



ユネスコエコパークセミナー

企画: 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会

「生物多様性と自然環境の保全について」

人里に近い低地型照葉樹林をどのようにしたら守れるのか～綾での取組を通じて～

近年の自然環境保全活動の流れを踏まえつつ、なぜ自然を守るのか、また、どのように地域と一緒に自然環境の保全に取り組んでいるのかについて話します。

講師

朱宮 丈晴 (しゅみや たけはる)

公益財団法人 日本自然保護協会 生物多様性保全部主任、日本MAB計画支援委員

2001年千葉大学大学院生物多様性科学専攻博士課程後期単位取得退学。専門は森林生態学、保全生態学。小笠原、屋久島、宮崎県綾町などで照葉樹林調査研究を実施。綾BR登録支援。「ユネスコエコパーク地域の実践が育てる自然保護」京都大学学術出版会分担執筆など。



プログラム

10:00 開 会 (9:30～開場・受付)

10:05 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク移行地域自然環境調査助成事業 報告

「佐伯市宇目の移行地域における野生鳥類を指標とした環境調査」 日本野鳥の会 大分県支部 江口 初男 (大分市)

「戸川岳の植物悉皆調査」 宮崎植物研究会 斉藤 政美 (宮崎県)

「高千穂町における鳥類の生息状況調査」 日本野鳥の会 宮崎県支部 中村豊・岩切久・井上伸之 (宮崎県)

「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク移行地域の照葉樹林におけるコケ植物相」 日本蘚苔類学会 大塚 政雄 (宇佐市)

11:05 休 憩

11:15 生物多様性と自然環境の保全について

公益財団法人 日本自然保護協会 朱宮 丈晴

12:05 午前の部 終了 (休 憩)

午後の部 13:00～16:00

祖母山のキレンゲシヨウマ
(豊後大野市提供)

■大分県内の自然環境に関する研究成果発表(8題:予定)

■大分県内の環境保全団体等の活動紹介(5団体:予定)

(詳細内容は11月中旬に<https://oointanature.wixsite.com/oointa>で公表いたします)



主催: 大分自然博物推進委員会

協賛: 国立大学法人大分大学理工学部

共催: 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会, 三学会(動物学会, 生態学会, 植物学会)九州支部

お問い合わせ: ooita_nature@yahoo.co.jp (大分自然博物推進委員会)

097-506-3025 (祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会事務局)